| 科目名 | 音楽Ⅰ | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | 全学科　１年　選択 | 予定時数 | ７０ |

**学習目標**

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

**学　習　内　容**

【１学期】
1　正しい発声法・呼吸法を習得し歌声を磨く
2　芸術歌曲を歌う
　（1）ドイツ歌曲
　（2）イタリア歌曲とカンツォーネ
　（3）日本の唱歌
3　ポピュラー曲を歌う
4　楽典とソルフェージュ
　（1）音符と休符
　（2）拍子と調号・臨時記号
　（3）強弱記号・速度記号・発想記号・反復記号
　（4）音名

【２学期】
1　アンサンブルの魅力①
　（1）合唱曲やアカペラ曲を歌う
　（2）リズム・アンサンブル
2　劇音楽（ミュージカル・オペラなど）の鑑賞
3　西洋音楽史（バロック時代からロマン派）

【３学期】
1　アンサンブルの魅力②
　　リコーダーの奏法とアンサンブル
2　日本の伝統音楽の歴史と鑑賞
3　世界の諸民族の音楽

各学期において、テスト・発表を行う

| 教科書 | 改訂版　高校生の音楽Ⅰ（音楽之友社） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

**学習評価**

1　思考力、判断力、表現力
・様々な歌曲を学ぶことにより、表現の多彩さを感じることができる。
・読譜力を高め、自分から演奏に積極的に取り組むことができる。
・鑑賞により、作品の特徴や歴史的背景などを説明できる。
・生活や社会における音楽の意義を感じ理解できる。

2　知識
・楽譜を読む力（読譜力）をつけることにより、表現を工夫し深める。
・発声の方法と楽器の奏法をる理解する。
・日本歌曲と世界の歌曲との比較、素晴らしさを理解する。
・西洋音楽史をはじめとして様々な国の音楽の伝統や文化を理解する。

3　技能
・歌曲の発声法を習得する。
・リコーダーの奏法を習得し、アンサンブルの楽しさを学ぶ。
・音楽の多様な形、表現方法を表現できる。

| 備　考 | 個人やグループによる演奏発表のほか、意見や感想をレポートなどでまとめ、実技と筆記テストなど総合的に評価する。 |
|---|---|

| 科目名 | 美術Ⅰ | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | １年　全学科　選択 | 予定時数 | ７０ |

**学習目標**

美術の創造的な活動を通して、クリエイティブな感性を育むとともに、表現することを生涯の友人として扱えるような豊かな技術、表現力、感受性を養う。

**学　習　内　容**

【１学期】
1　オリエンテーション
2　タイポグラフィ
3　顔のグラデーション
4　水彩色鉛筆

※すべての課題において、作品完成後お互いの作品を鑑賞し合う。

【２学期】
1　オリジナルキャラクターのフィギュア作成
2　模写
3　判じ絵
4　ゼンタングル

【３学期】
1　ペーパーナイフ
2　デカルコマニー

| | |
|---|---|
| 教科書 | 美術Ⅰ（光村） |
| 副教材 | なし |

**学習評価**

1　思考力、判断力、表現力
・用途や目的に合わせた技術や表現力
・作品全体の工夫
・個性や感性の生きた作品
2　関心、意欲
・授業の準備、道具の片付け
・新しいことを意欲的に取り入れる積極性
・作品制作中の集中力
3　知識、理解
・技術、色彩、造形への理解
・授業中得た知識とそれの応用力

| | |
|---|---|
| 備　考 | 教材費として 2000 円 |

| 科目名 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | 農業　１学年　全コース　選択 | 予定時数 | 70 |

学習目標

1. 書の表現の方法や形式、多様性を広く理解し、書写能力の向上を図り、効果的な表現の基礎技能を身につける。
2. 書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、表現の工夫をする。
3. 書の表現の伝統と文化の意味や価値を考え、鑑賞できるようにする。
4. 主体的に幅広い活動に取り組み、感性を高め、書をとおして豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学　習　内　容

【１学期】
1　オリエンテーション
(1) 書写から書道へ
(2) 文房四宝と書の歴史
2　線の表現と文字の構築
(1) 篆書の学習から
3　楷書の学習
(1) 基本的用筆
(2) 古典に基づく鑑賞と臨書
・九成宮禮泉銘　・孔子廟堂碑
・雁塔聖教序　・建中告身帖
・牛蕨造像記　・鄭義下碑など

【２学期】
4　仮名の学習
(1) 基本的用筆
(2) 仮名の単体と連綿
(3) 古典の基づく鑑賞と臨書
・蓬莱切　・高野切第三種など
5　行書の学習
(1) 基本的用筆と特徴
(2) 古典に基づく鑑賞と臨書
・蘭亭序　・争座位文稿　・風信帖など

【３学期】
6　篆刻の学習
(1) 姓名印の制作

7　漢字仮名交じりの書
(1) １年間のまとめ
・各自書きたい詩歌を使って作品制作

※制作した作品をお互いに鑑賞する。

| 教科書 | 書道Ⅰ（東京書籍） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

学習評価

1　思考力、判断力、表現力
・古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体構成を捉える。
・意図に基づいた表現ができる。
・鑑賞により、作品の価値とその根拠をことばにできる。
・生活や社会における書の効用について理解する。
2　知識
・用具用材の特徴と表現効果とのかかわりについて工夫する。
・線質や書風と用筆、運筆とのかかわりについて理解する。
・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化を理解する。
3　技能
・古典に基づく基本的な用筆を習得する。
・多様な線質と字形や構成を生かした表現ができる。

| 備　考 | 課題の提出のほか、意見や感想を書き記すワークやグループ学習での取り組み、実技の準備から片付けまでの取り組みなどを含め総合的に評価する。 |
|---|---|

| 科目名 | 音楽Ⅱ | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | 農業　全学科　３年　選択 | 予定時数 | ７０ |

**学習目標**

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

**学　習　内　容**

【１学期】
1　正しい発声法・呼吸法を習得し歌声を磨く
2　芸術歌曲を歌う
　（1）ドイツ歌曲
　（2）イタリア歌曲とカンツォーネ
　（3）日本の唱歌
3　ポピュラー曲を歌う
4　楽典とソルフェージュ
　（1）音符と休符
　（2）拍子と調号・臨時記号
　（3）強弱記号・速度記号・発想記号・反復記号
　（4）音名・音階・和音

【２学期】
1　アンサンブルの魅力①
　（1）合唱曲やアカペラ曲を歌う
　（2）リズム・アンサンブル
2　劇音楽（ミュージカル・オペラなど）の鑑賞
3　西洋音楽史（バロック時代からロマン派）

【３学期】
1　アンサンブルの魅力②
　　キーボードの練習とアンサンブル
2　日本の伝統音楽の歴史と鑑賞
3　世界の諸民族の音楽

各学期において、テスト・発表を行う

| 教科書 | 改訂版　高校生の音楽Ⅱ（音楽之友社） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

**学習評価**

1　思考力、判断力、表現力
・様々な歌曲を学ぶことにより、表現の多彩さを感じることができる。
・読譜力を高め、自分から演奏に積極的に取り組むことができる。
・鑑賞により、作品の特徴や歴史的背景などを説明できる。
・生活や社会における音楽の意義を感じ理解できる。

2　知識
・楽譜を読む力（読譜力）をつけることにより、表現を工夫し深める。
・発声の方法と楽器の奏法をる理解する。
・日本歌曲と世界の歌曲との比較、素晴らしさを理解する。
・西洋音楽史をはじめとして様々な国の音楽の伝統や文化を理解する。
・劇音楽（ミュージカルやオペラ）の素晴らしさを体現する。

3　技能
・歌曲の発声法を習得する。
・キーボードの奏法を習得し、アンサンブルの楽しさを学ぶ。
・音楽の多様な形、表現方法を表現できる。

| 備　考 | 個人やグループによる演奏発表のほか、意見や感想をレポートなどでまとめ、実技と筆記テストなど総合的に評価する。 |
|---|---|

| 科目名 | 美術Ⅱ | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学年・学科・コース | 農業　全学科　３年　選択 | 予定時数 | ７０ |

**学習目標**

美術の創造的な活動を通して、クリエイティブな感性を育むとともに、表現することを生涯の友人として扱えるような豊かな技術、表現力、感受性を養う。

**学　習　内　容**

【１学期】
1　オリエンテーション
2　平面構成
3　名画のパロディ
4　しりとりパラパラ漫画アニメーション

※すべての課題において、作品完成後お互いの作品を鑑賞し合う。

【２学期】
1　オリジナルキャラクターのフィギュア製作
2　ピクトグラム
3　ポップアップアート

【３学期】
1　ゼンタングル
2　寄木工芸

| 教科書 | 美術Ⅰ（光村） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

**学習評価**

1　思考力、判断力、表現力
・用途や目的に合わせた技術や表現力
・作品全体の工夫
・個性や感性の生きた作品
2　関心、意欲
・授業の準備、道具の片付け
・新しいことを意欲的に取り入れる積極性
・作品制作中の集中力
3　知識、理解
・技術、色彩、造形への理解
・授業中得た知識とそれの応用力

| 備　考 | 教材費として 2000 円 |
|---|---|

| 科目名 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | 農業　３学年　全コース　選択 | 予定時数 | 70 |

学習目標

1. 書の創造的な諸活動をとおして、効果的に表現するための技能を身につける。
2. 書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現する。
3. 書の表現の伝統と文化の意味や価値を考え、鑑賞できるようにする。
4. 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。

学　習　内　容

【１学期】
1　整斉の書
(1) 生活の中の書・実用硬筆の書

2　一字書の創作

3　篆書・隷書・草書の学習
(1) 古典の臨書による基本的用筆と造形の特徴
(2) 創作への応用

【２学期】
4　古代の文字に学ぶ
(1)　線質と造形の表現

5　仮名の学習
(1) 古典に基づく鑑賞と臨書
連綿と散らし書の表現

【３学期】
6　漢字仮名交じりの書
(1) 詩文の創作

7　篆刻の学習

※制作した作品をお互いに鑑賞する。

| 教科書 | 書道Ⅱ（東京書籍） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

学習評価

1　思考力、判断力、表現力
・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成の工夫ができる。
・感興や意図に応じた個性的な表現ができる。
・現代に生きる創造的な表現ができる。
2　知識
・古代の文字や名筆の表現と用筆運筆の関わりとその良さについて理解する。
3　技能
・変化や調和による構成の工夫ができる。
・意図に応じた用具用材の活用ができる。

| 備　考 | 課題の提出のほか、意見や感想を書き記すワークやグループ学習での取り組み、実技の準備から片付けまでの取り組みなどを含め総合的に評価する。 |
|---|---|

| 科目名 | メディア表現（音楽） | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | 農業　全学科　３年　選択 | 予定時数 | ７０ |

**学習目標**

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

**学　習　内　容**

【１学期】
1　正しい発声法・呼吸法を習得し歌声を磨く
2　芸術歌曲を歌う
　（1）ドイツ歌曲
　（2）イタリア歌曲とカンツォーネ
　（3）日本の唱歌
3　ポピュラー曲を歌う
4　楽典とソルフェージュ
　（1）音符と休符
　（2）拍子と調号・臨時記号
　（3）強弱記号・速度記号・発想記号・反復記号
　（4）音名・音階・和音

【２学期】
1　アンサンブルの魅力①
　（1）合唱曲やアカペラ曲を歌う
　（2）リズム・アンサンブル
2　劇音楽（ミュージカル・オペラなど）の鑑賞
3　西洋音楽史（バロック時代からロマン派）

【３学期】
1　アンサンブルの魅力②
　　キーボードの練習とアンサンブル
2　日本の伝統音楽の歴史と鑑賞
3　世界の諸民族の音楽

各学期において、テスト・発表を行う

| 教科書 | 改訂版　高校生の音楽Ⅱ（音楽之友社） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

**学習評価**

1　思考力、判断力、表現力
・様々な歌曲を学ぶことにより、表現の多彩さを感じることができる。
・読譜力を高め、自分から演奏に積極的に取り組むことができる。
・鑑賞により、作品の特徴や歴史的背景などを説明できる。
・生活や社会における音楽の意義を感じ理解できる。

2　知識
・楽譜を読む力（読譜力）をつけることにより、表現を工夫し深める。
・発声の方法と楽器の奏法をる理解する。
・日本歌曲と世界の歌曲との比較、素晴らしさを理解する。
・西洋音楽史をはじめとして様々な国の音楽の伝統や文化を理解する。
・劇音楽（ミュージカルやオペラ）の素晴らしさを体現する。

3　技能
・歌曲の発声法を習得する。
・キーボードの奏法を習得し、アンサンブルの楽しさを学ぶ。
・音楽の多様な形、表現方法を表現できる。

| 備　考 | 個人やグループによる演奏発表のほか、意見や感想をレポートなどでまとめ、実技と筆記テストなど総合的に評価する。 |
|---|---|

| 科目名 | メディア表現（美術） | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学年・学科・コース | 農業　全学科　３年　選択 | 予定時数 | ７０ |

**学習目標**

美術の創造的な活動を通して、クリエイティブな感性を育むとともに、表現することを生涯の友人として扱えるような豊かな技術、表現力、感受性を養う。

**学　習　内　容**

【１学期】
1　オリエンテーション
2　平面構成
3　名画のパロディ
4　しりとりパラパラ漫画アニメーション

※すべての課題において、作品完成後お互いの作品を鑑賞し合う。

【２学期】
1　オリジナルキャラクターのフィギュア製作
2　ピクトグラム
3　ポップアップアート

【３学期】
1　ゼンタングル
2　寄木工芸

| 教科書 | 美術Ｉ（光村） |
|---|---|
| 副教材 | なし |

**学習評価**

1　思考力、判断力、表現力
・用途や目的に合わせた技術や表現力
・作品全体の工夫
・個性や感性の生きた作品
2　関心、意欲
・授業の準備、道具の片付け
・新しいことを意欲的に取り入れる積極性
・作品制作中の集中力
3　知識、理解
・技術、色彩、造形への理解
・授業中得た知識とそれの応用力

| 備　考 | 教材費として 2000 円 |
|---|---|

| 科目名 | メディア表現（書道） | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|---|
| 学科・学年・コース | 農業　３学年　全コース　選択 | 予定時数 | 70 |

学習目標

1. 実用の書として、硬筆により、速く正しく美しく筆記する技能を身につける。
2. 書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現する。
3. 書の表現の伝統と文化の意味や価値を考え、鑑賞できるようにする。
4. 主体的に現代に生きる書の表現活動に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学　習　内　容

【１学期】
1　実用の書①
（1）硬筆の書

2　一字書の創作
（1）筆墨による漢字一字の表現

3　多様な漢字の書体に学ぶ
（1）古典の臨書による基本的用筆と造形の特徴

【２学期】
4　実用の書②
（1）様式に合わせた実用の書

5　仮名の学習
（1）古典に基づく鑑賞と臨書
連綿・散らし書の表現

【３学期】
6　創作
（1）詩文の創作
（2）漢字の創作
（3）コラボレーション

※すべての課題でお互いの作品を鑑賞し合う。

| 教科書 | なし |
|---|---|
| 副教材 | なし |

学習評価

1　思考力、判断力、表現力
・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成の工夫ができる。
・感興や意図に応じた個性的な表現ができる。
・現代に生きる創造的な表現ができる。
2　知識
・古代の文字や名筆の表現と用筆運筆の関わりとその良さについて理解する。
3　技能
・実用文書における書写技能を高める。
・変化や調和による構成の工夫ができる。
・意図に応じた用具用材の活用ができる。

| 備　考 | 課題の提出のほか、意見や感想を書き記すワークやグループ学習での取り組み、実技の準備から片付けまでの取り組みなどを含め総合的に評価する。 |
|---|---|